



なつかしい顔  
元気に再会  
和気あいあい  
大盛況の懇親会



山の会海外旅行を報告する上岡さん



## 高退協夏季学習会

楽しく充実したひとときでした



開会あいさつをする倉橋会長

土居 修  
天文学は秋を秋分(9月23日ごろ)から冬至(12月22日ごろ)の前日までとしている。節気では立冬(8月7日ごろ)から立冬(11月7日ごろ)の前日までをいう。  
したがって、9月29日はまぎれもなく秋である。にもかかわらず、社会通念を容易に覆し、その1日を「夏季」の二字を冠して「学習会」を敢行した高退協のふてぶてしさ。そこには、子どもの豊かな成長に弛みない情熱を傾け、民主教育の推進にひたむきにのちを賭けてきたという自負と誇りが宿っていると考えられない。  
ともかく、本年度の「夏季学習会」の講師と演題を記そう。  
上岡積さん 「山の会海外旅行の記録より」  
池上園さん・川村喜美さん 「高知県の子ども食堂の取



山の会海外旅行を報告する上岡さん

上岡積さんは高退協のクラブ活動として1990年に発足し、昨年に解散した高知教員山の会の一員であった。山職の会は26年間で303回の山行を達成しているという。講演ではその一員として参加したトレッキングの写真を数多く紹介しながら、丁寧かつ綿密に「そのとき」を語ってくれた。最も印象的であったのは、上岡さんがレンズを通して真に眺めたかったのは、美しい山岳風景ではなく、その国や地域の風土や人々の生活、文化の営みであったということ。上岡さんの人間愛の深さに驚愕し、共感した時間であった。



高知県子ども食堂を報告する池上・川村さん

池上園さんと川村喜美さんの取組には香南市と四万十町の地域性や運営の実態など相違点は少なくなかったが、「ともに地域の子どもを地域で見守り、育てる」という共通の理念が底流していた。お二人の優れて勝利的で、稀有な生きざまに自戒するしかなく、崇高な使命感もなく、すやめてしまった燃やすことには針の筵に正座させられた思い。その後に竹嶋高教組書記長から高校教育の現状と課題を聞いて多く示唆に富んだ話を聴くことができた。  
名簿からの集計であるが、学習会の参加者は32名、懇親会は23名であったという。この報告に代えさせていただきます。

### 2019高退協スキーツアーご案内

### 樹氷天国～蔵王温泉スキー場

◇宿舎…「蔵王プラザホテル」  
〒990-2301 山形市蔵王2  
Tel. 023-694-9111

◇2019年1月27日(日)～30日(水) 高知空港発着  
◇費用…80,000円  
(リフト券は現地で各自購入して下さい。旅行保険は含みます。)  
◇締切り…2018年12月31日(月)  
◇申込、問合せ… 原 淳 090-3180-3207

小松茂弘 090-3787-6374